

前橋労働基準監督署

安全衛生情報 平成30年11月号

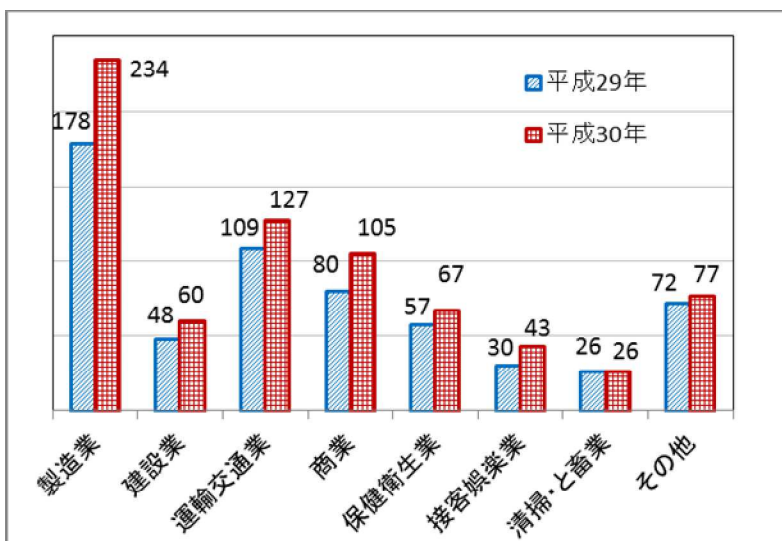
前橋労働基準監督署 前橋市大手町 2-3-1 前橋地方合同庁舎 7階 Tel 027-896-3019 Fax 027-896-3055

**SAFETY
FIRST**

みんなで感謝の総点検 笑顔で迎える年末年始

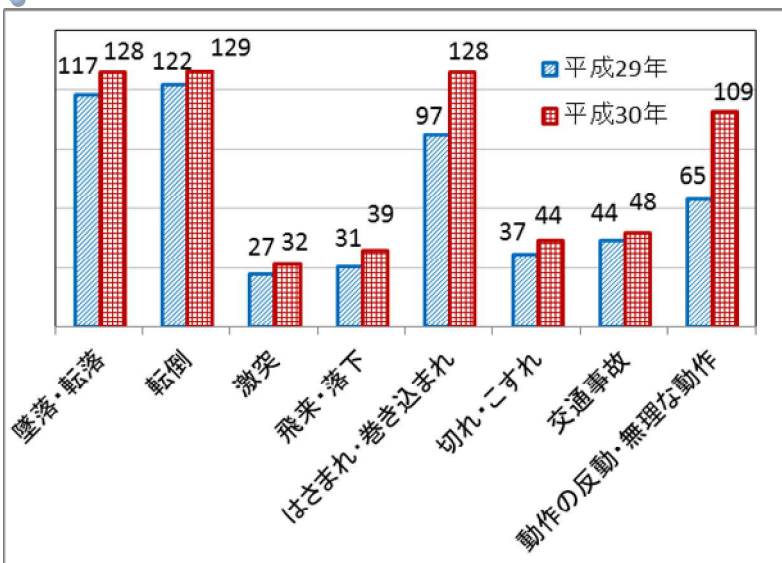
平成30年度「年末年始無災害運動標語」

平成30年10月末現在 前橋署管内 労働災害発生状況



※注…休業4日以上(通勤災害分を除く)で、平成30年10月31日までに当署に提出された労働者死傷病報告を集計(累計)。

災害の型別発生状況



全産業合計で 739 件

昨年同期に比べ 139 件増(約 23.2%増)

- 製造業は 234 件
(56 件増 約 31.5%増)
- 建設業は 60 件
(12 件増 25.0%増)
- 運輸交通業は 127 件
(18 件増 約 16.5%増)
- 商業は 105 件
(25 件増 約 31.3%増)
- 保健衛生業は 67 件
(10 件増 約 17.5%増)
- 接客娯楽業は 43 件
(13 件増 約 43.3%増)
- 清掃・と畜業は 26 件
(増減なし)
- 死亡災害は 5 件 (2 件増)

※群馬県全体では 1,836 件発生

昨年同期に比べ 152 件増(約 9.0%増)

死亡災害は、15 件 (3 件減)

11月は「過労死等防止啓発月間」です!

◎過労死等防止対策推進シンポジウム開催
や過重労働解消キャンペーンなどを実施
国民一人ひとりが自身にも関わることとして
過労死等とその防止に対する理解を深めて
「過労死ゼロ」の社会を実現しましょう。

★シンポジウム：平成30年11月30日

群馬県公社総合ビル1階西研修室

S T O P ! 転倒災害



平成30年死亡災害事例（前橋署管内）

発生月 発生時間帯 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
3月 17時頃 68人	50歳代 男 運転手	高速道路上において、大型トラックが、渋滞により減速した大型観光バスに追突し、トラック運転手が死亡した。	道路貨物 運送業	交通事故 (道路)	トラック
8月 10時頃 6人	50歳代 60歳代 男 男 操縦士 整備士	県からヘリコプターの運航について委託を受け、新たに開通予定の登山道を視察するため、操縦士及び整備士を含む9名が乗車して飛行していたところ、山中に墜落した。	航空業	交通事故 (その他)	その他の 乗物
9月 14時頃 8人	60歳代 男 職員	刈払機を用いて草刈作業をしていたところ、蜂に刺され、アナフィラキシーショックを起こした。	社会福祉 施設	その他	その他の 環境等
10月 9時頃 139人	20歳代 男 作業者	自動鍍金ラインにおいて、鍍金液面管理のため手でホースを持って、純水を充填していたところ、加工品を自動搬送しているキャリアーのフレームと通路の柱に頭部をはさまれた。	自動車・ 同付属品 製造業	はさま れ・ 巻き込ま れ	その他の 一般動力 機械

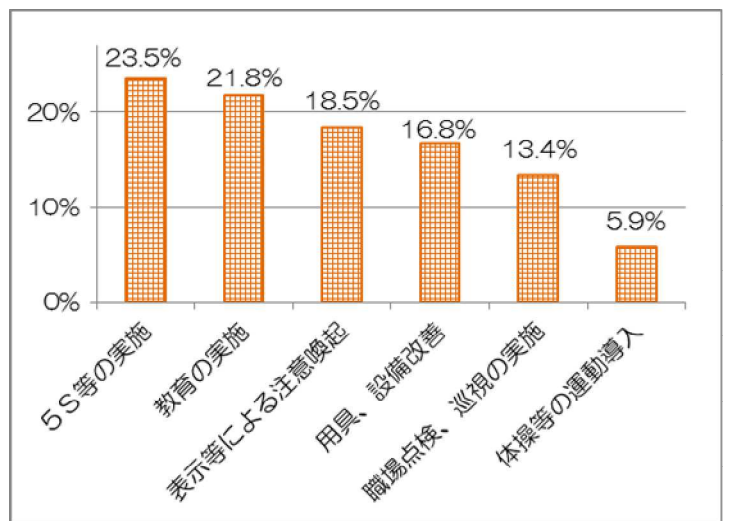
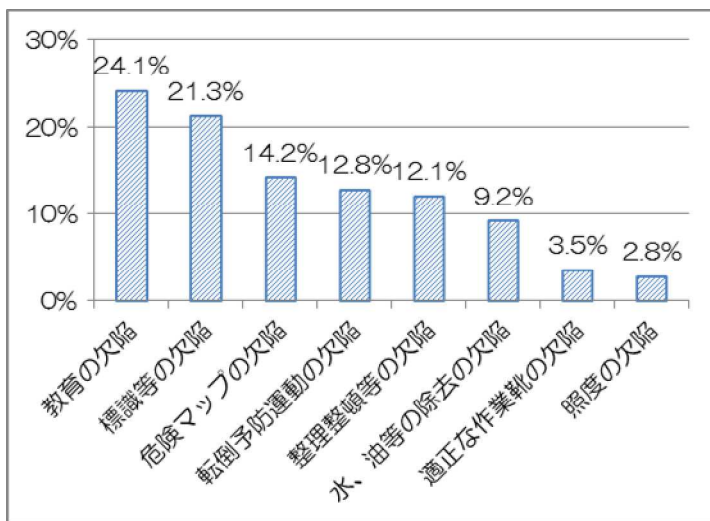
～転倒災害防止に向けた事業場の対応状況～

前橋労働基準監督署では、平成29年中に休業1か月以上の転倒災害を発生させた112事業場に対し自主点検を実施し、84事業場から回答がありました。

点検の内容は、(1)原因として考えられるもの(2)新たに取り組むこととした対策についてです。

(1)原因として考えられるもの

(2)新たに取り組むこととした対策



原因として、①教育の欠陥(24.1%)、②標識等の欠陥(21.3%)を挙げている事業場が見られ、次いで③危険マップの欠陥(14.2%)、④転倒予防運動の欠陥(12.8%)、⑤整理整頓等の欠陥(12.1%)、⑥水、油等の除去の欠陥(9.2%)の順に多く挙げられました。

新たに取り組むこととした対策として、①5S等の実施、②教育の実施、③表示等による注意喚起、④用具、設備改善、⑤職場点検、巡視の実施、⑥体操等の運動導入が挙げられました。

転倒災害は、どのような職場でも発生する可能性があります。職場での転倒の危険性は、働くすべての人が問題意識を持って原因を見つけ、対策をとることで減らすことができます。上の結果を参考に、できるところから少しずつ取り組んでいきましょう！



日が短くなり、暗くなるのも早くなりました。日中は気が付かないものの、暗くなるにつれて発現する危険もあります。パトロールや危険予知活動等行い、災害防止に努めましょう！安全第一！！

